

令和6年度議会運営委員会行政視察報告書

1. 期日: 令和6年8月8日(木)・9日(金)

2. 視察地と視察項目:

(1)神奈川県横須賀市:横須賀市議会実行計画「未来への羅針盤 2023 及び 2027」
について

関東学院大学と包括的パートナーシップ協定について

(2)埼玉県所沢市:議会政策研究審議会について

早稲田大学との連携協定について

3. 行程:

○8月8日(木)

矢板市役所 → 横須賀市(昼食) → 横須賀市議会 → 所沢市内(泊)

○8月9日(金)

所沢市 → 所沢市(昼食) → 所沢市議会 → 矢板市役所

4. 視察出席者: 議会運営委員会(6名)

委員長	石井 侑男	副委員長	宮本 莊山
-----	-------	------	-------

委員	神谷 靖	委員	掛下 法示
----	------	----	-------

委員	櫻井 恵二	委員	高瀬 由子
----	-------	----	-------

矢板市議会(2名)

議長	佐貫 薫	副議長	石塚 政行
----	------	-----	-------

議会事務局(2名)

局長	星 哲也	副主幹	佐藤 晶昭
----	------	-----	-------

5. 視察先概要

(1) 神奈川県横須賀市

人口 373,651 人 (R6.6.1) 面積 100.81 km²

横須賀市議会：38 名(定数 39 名) 議会運営委員会：10 名

5 つの常任委員会：

総務 9 名(定数 10 名)、民生 10 名、環境教育 9 名、

都市整備 9 名(定数 10 名)、予算決算 38 名

①ご対応いただいた方 横須賀市議会

議長	大野 忠之	様
議会局次長兼総務調査課長	島崎 恭光	様
議事課長	川瀬 美哉	様
総務調査課課長補佐	木村 英就	様
議事課主任	江南 瞳	様

②横須賀市議会の取組

(ア)横須賀市議会実行計画について

時代の変化に応じた新たな課題に着手し、政策形成機能を強化するため、議会改革の柱の一つとして、関東学院大学との包括的パートナーシップ協定も活用しつつ、政策形成サイクルの確立を推進している中で、実行計画として、議員任期 4 年間の計画を策定している。

基本的な考え方については、以下の 4 項目のとおりである。

ア.「政策立案」であることを基本に「条例制定」及び「政策提案」のいずれかを行う。

イ.4 年間の対象期間を考慮し、2 年間ごと前期・後期の二つに分ける。

ウ.後期の計画については、前期末に横須賀市を取り巻く社会情勢や行政課題等の変化を踏まえて再度協議する。

エ.選定しなかった政策課題は、実行計画を進行管理する中で社会情勢や行政課題等を踏まえ、その取扱いの必要性を検討するとしている。

そして、選定基準については、「共通度」「市民生活度(影響度)」「市民満足度」「緊急度」「提案数」の項目より評価選定を行うこととし、また政策等の検証については、Plan(計画)⇒Do(実行)⇒Check(評価)⇒Action(改善)のサイクルを順次実施して検証を行っている。さらに、市民の誰もが知りたい時に容易に情報を得ることができるよう、実行計画の見える化に努めている。

(イ) 関東学院大学と包括的パートナーシップ協定について

協定の目的は、「本協定は、市民を代表して市政に関する意思決定を行う横須賀市議会と、知的財産を集積する関東学院大学が、相互の信頼関係に基づき、密接に連携し、及び協力し、かつ双方の持つ知的、人的及び物的な資源を有効活用することにより、地域社会における様々な政策課題への適正な対処と地域の発展、人材の育成、学術研究の向上等に寄与すること」としている。

協定に基づく取組の実施状況については、以下の七つの取組等を実施している。

ア. 議員研修会等への講師派遣

イ. 大学図書館の議員及び議会局職員の利用

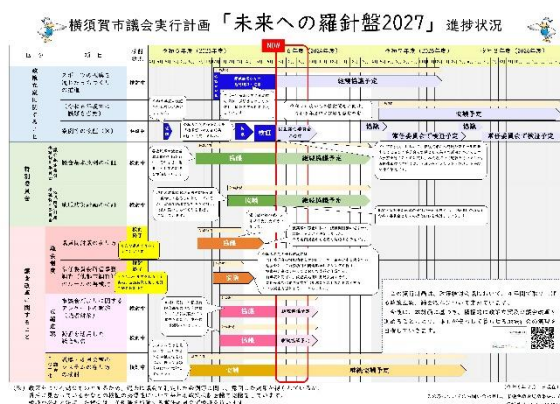
ウ. 「KGU かながわ学」の聴講

エ. 法学部学生のインターンシップの受入れ

オ. 法学部地域創生学科の授業科目「地域創生特論」への出講

カ. 高校生・大学生を対象とした議会報告会への学生派遣

キ. 連携協力推進会議の開催



(2) 埼玉県所沢市

人口 343,091 人 (R6.5 末) 面積 72. 11 km²

所沢市議会 : 33 名 議会運営委員会 : 12 名

5 つの常任委員会 :

総務経済 8 名、健康福祉 8 名、市民文教 8 名、建設環境 8 名、予算 12 名

①ご対応いただいた方 所沢市議会

議長	松本 明信 様
議会運営委員長	大石 健一 様
総務経済常任委員長	佐野 允彦 様
市民文教常任委員長	植竹 成年 様
健康福祉常任委員長	川辺 浩直 様
議員	粕谷不二夫 様
議員	前田 浩昭 様
議員	長岡 恵子 様
議会事務局主査	谷口 周 様

②所沢市議会の取組

(ア)議会政策研究審議会について

議会政策研究審議会は、議会と大学等研究機関との連携を通じて、議員研修の充実強化を図り、更なる議会機能の強化と議会の活性化に資するために設置している。所掌事務は、「議員研修計画の策定及び実施に関すること」「政策提言に関すること」等とし、審議会はこれらについて自ら協議を行い、議長に提言することができる。

また、組織は「市内に設置されている大学等に所属する研究者」「知識経験を有する者」等のうちから 5 名以内で組織し、議長が委嘱する。そして任期は 2 年とし、再任することができる。さらに、会長は必要と認める時は委員以外の者に対し、審議会の会議に出席を求めて、意見もしくは説明を聞き、または資料の提出を求めることができることとしている。

加えて所沢市議会では、委員会における審査や政策立案等を目的に公開討論会を年1回以上開催している。

(1)早稲田大学との連携協定について

パートナーシップ協定を平成28年2月1日締結し、キャリア教育プログラムやみみ丸カフェなどを実施している。

キャリア教育プログラムは、早稲田大学人間科学部学生等に募集をかけ、定例会期間を中心に複数の議員をスーパーバイザーとして本会議の見学や議員活動について体験するプログラムである。みみ丸カフェは20から40歳代までの現役世代を対象に、無作為抽出により参加者を募集し、早稲田大学の教授や学生の協力を得ながら、ワールドカフェスタイルによる市民と議員との懇談会を開催している。

(3) 視察研修後の所感

横須賀市、所沢市は共に中核市であり、両市とも地元の大学とパートナーシップ協定を締結している。そのことが議会改革度調査におけるランキングの上位にランクインしている大きな要因かと感じた。翻って矢板市議会の現状を見ると、市民や高校生との意見交換会は実施しているが、その意見等は提言・要望書としてまとめるにとどまり、議会として政策につなげる取組ができていないところがある。今後は議員の研修会や勉強会等を実施し、一層の議会改革活性化に取り組む必要性を強く認識した視察研修であった。

